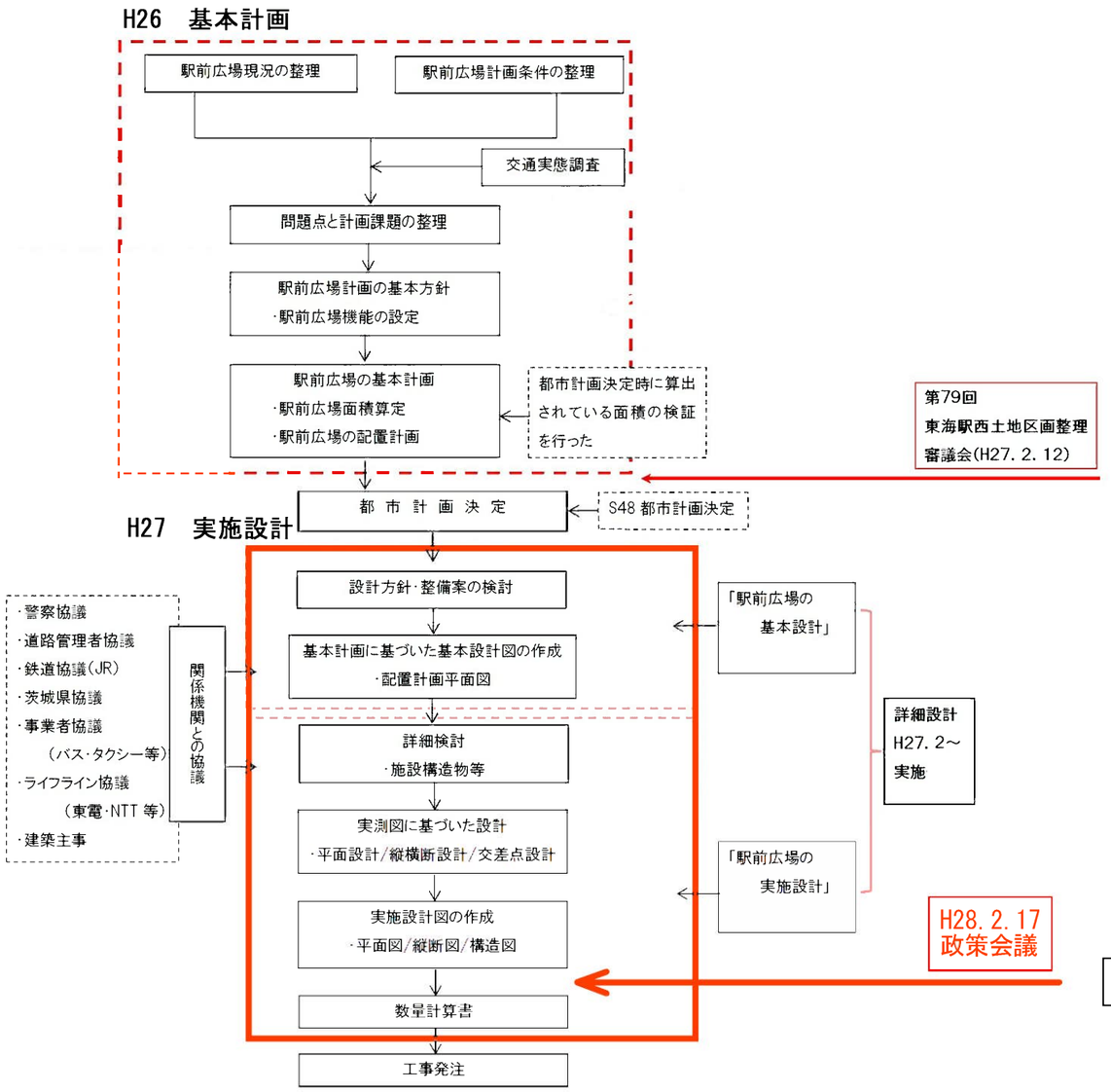
はじめに　東海駅西駅前広場再整備の目的と事業のながれ

東海駅西駅前広場は、昭和 48 年に区画整理事業として都市計画決定され全体計画(4,620 ㎡)のうち、約 60%(2,940 ㎡)が整備されました。

昭和 48 年の決定当時から 40 年以上が経過し、東海駅西駅前広場を取り巻く様々な環境の変化があることから、改めて駅前広場に係る機能や駅周辺との連携などについて見直したところ、地域交通の利便性と地域の安全性の向上及び駅東及び駅西の市街地が活性化に寄与するため、現状に即した駅前広場となるレイアウトを再検討することが望ましいと考えました。

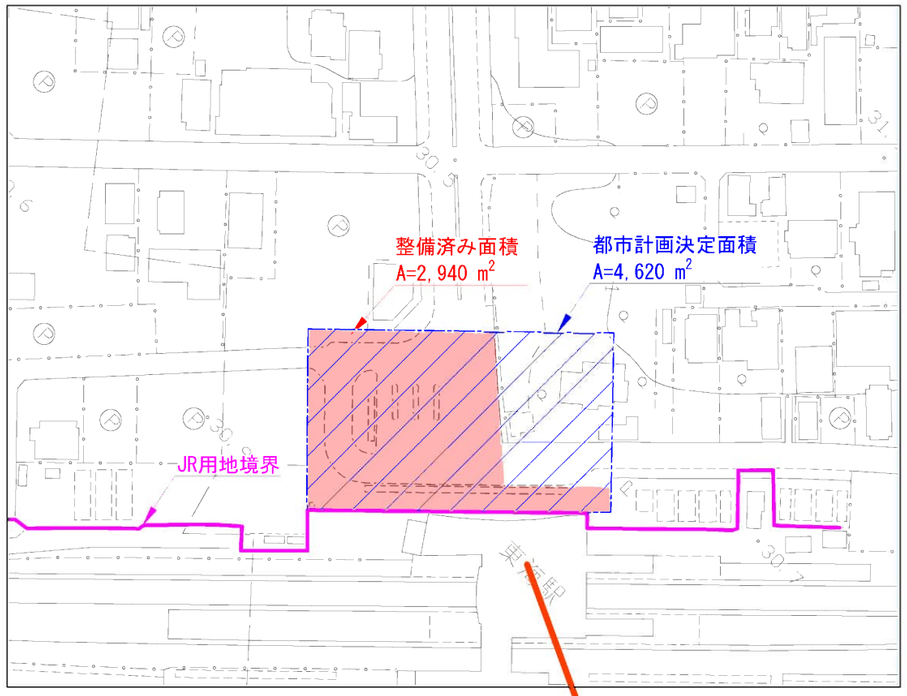
今年度は、平成 31 年に開催される「茨城国体 2019」を見据えた整備計画も視野にいれた「駅西地区　東海駅前広場基本計画再検討業務」を進めてまいりました。

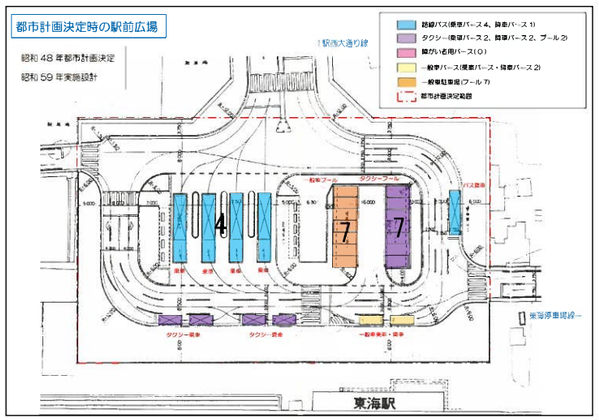
以下に今年度進めてきた業務内容およびこれからの業務ながれを示します。

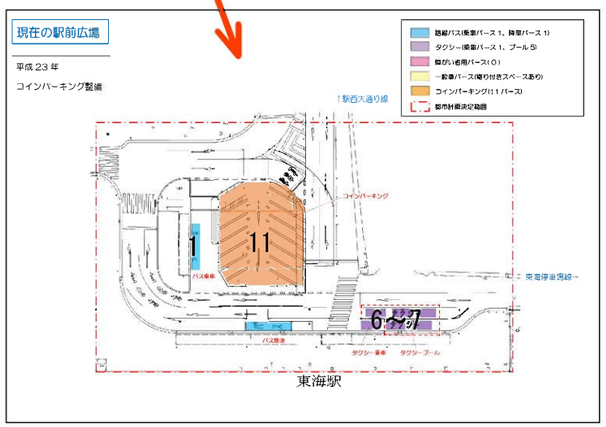


【都市計画決定時の駅前広場と現在の駅前広場】

＊都市計画決定
東海駅西駅前広場　昭和 48 年 1 月 16 日　（茨城県告示第 42 号）
面積：4,620 ㎡







主な変化

都市計画決定時の駅前広場		現在の駅前広場
バス乗車場　：4台（茨城交通2、日立電鉄、動燃）	→	バス乗車場　：1台（茨城交通）
計画交通量　：10,000台/日以上		将来交通量　：約5,000台/日
計画乗降者数：23,000人/日（東口も含む）	減少	現在乗降者数：約16,000人/日（東口も含む）

平成29年度と30年度に施工し、平成31年9月の国体開催時に完成を目指す。

東海駅西駅前広場設計平面図

縮尺　1：250（A1）

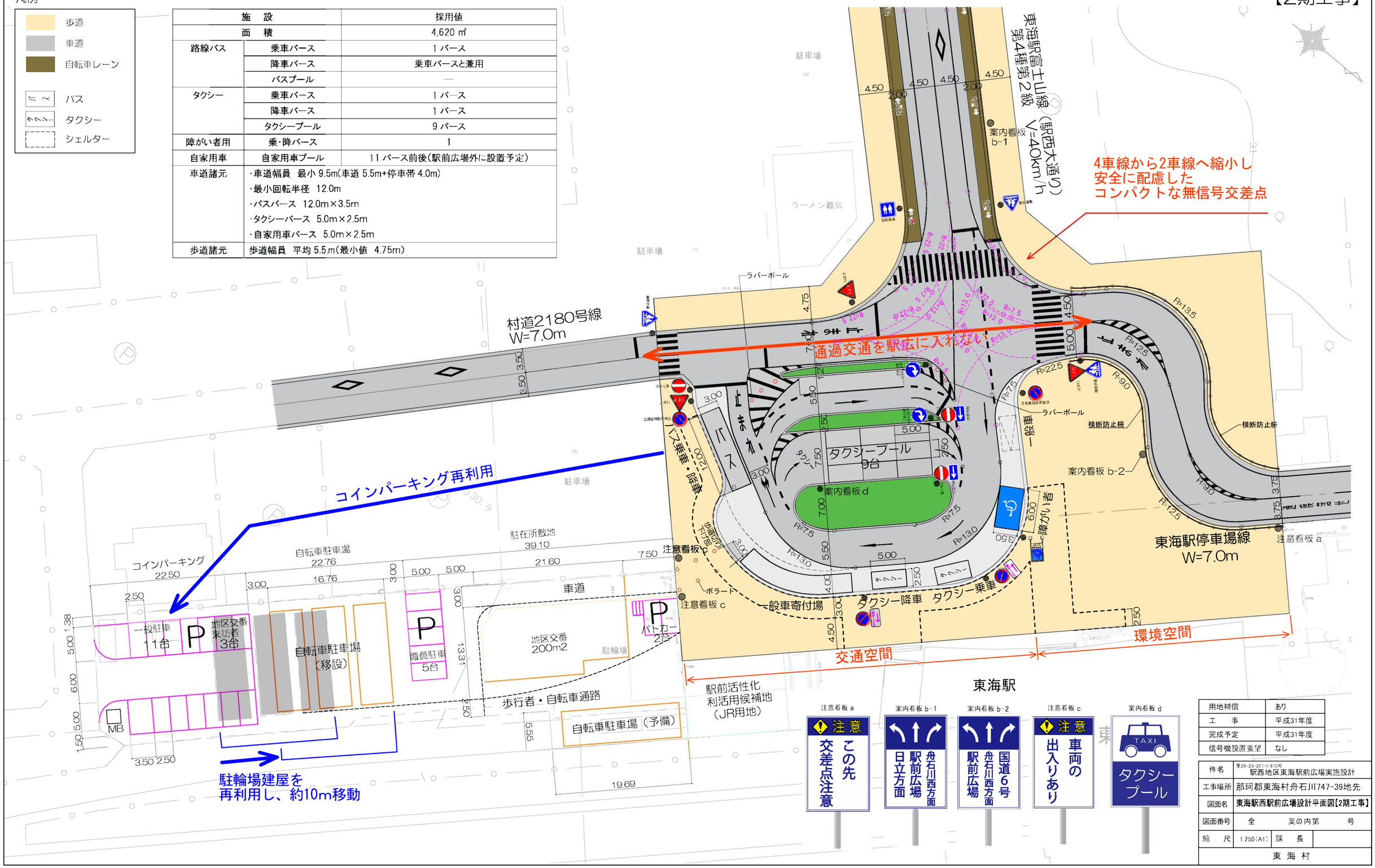
【完成形】

【2期工事】

凡例

- 歩道
- 車道
- 自転車レーン
- バス
- タクシー
- シェルター

施　設		採用値
面　積		4,620 ㎡
路線バス	乗車バース	1 バース
	降車バース	乗車バースと兼用
	バスプール	—
タクシー	乗車バース	1 バース
	降車バース	1 バース
	タクシープール	9 バース
障がい者用	乗・降バース	1
自家用車	自家用車プール	11 バース前後(駅前広場外に設置予定)
車道諸元	・車道幅員　最小 9.5m(車道 5.5m+停車帯 4.0m) ・最小回転半径　12.0m ・バスバース　12.0m×3.5m ・タクシーバース　5.0m×2.5m ・自家用車バース　5.0m×2.5m	
歩道諸元	歩道幅員　平均 5.5m(最小値　4.75m)	



用地補償	あり
工　事	平成31年度
完成予定	平成31年度
信号機設置要望	なし

件名	第26-23-201-1-910号 駅西地区東海駅前広場実施設計		
工事場所	那珂郡東海村舟石川747-39地先		
図面名	東海駅西駅前広場設計平面図【2期工事】		
図面番号	全　　葉の内第　　号		
縮　尺	1:250(A1)	課　長	
東　海　村			

＊駅前広場・駅西大通りレイアウト＊

修景施設配置計画図

●まちづくりの基本コンセプト
「自然」と「科学」、「文化」が共鳴する人が主役の活き生きたうん⇒東海いきたうん構想

活き 1．人があつまる魅力と活力のあるまちを育てる

意気 2．自然と科学技術が調和しクリーンでスマートな高次なまちを育てる

生き 3．水とみどりが連続する潤いのあるまちを育てる

粋 4．地域が育んだ歴史・文化・伝統を大切にし続けるまちを育てる

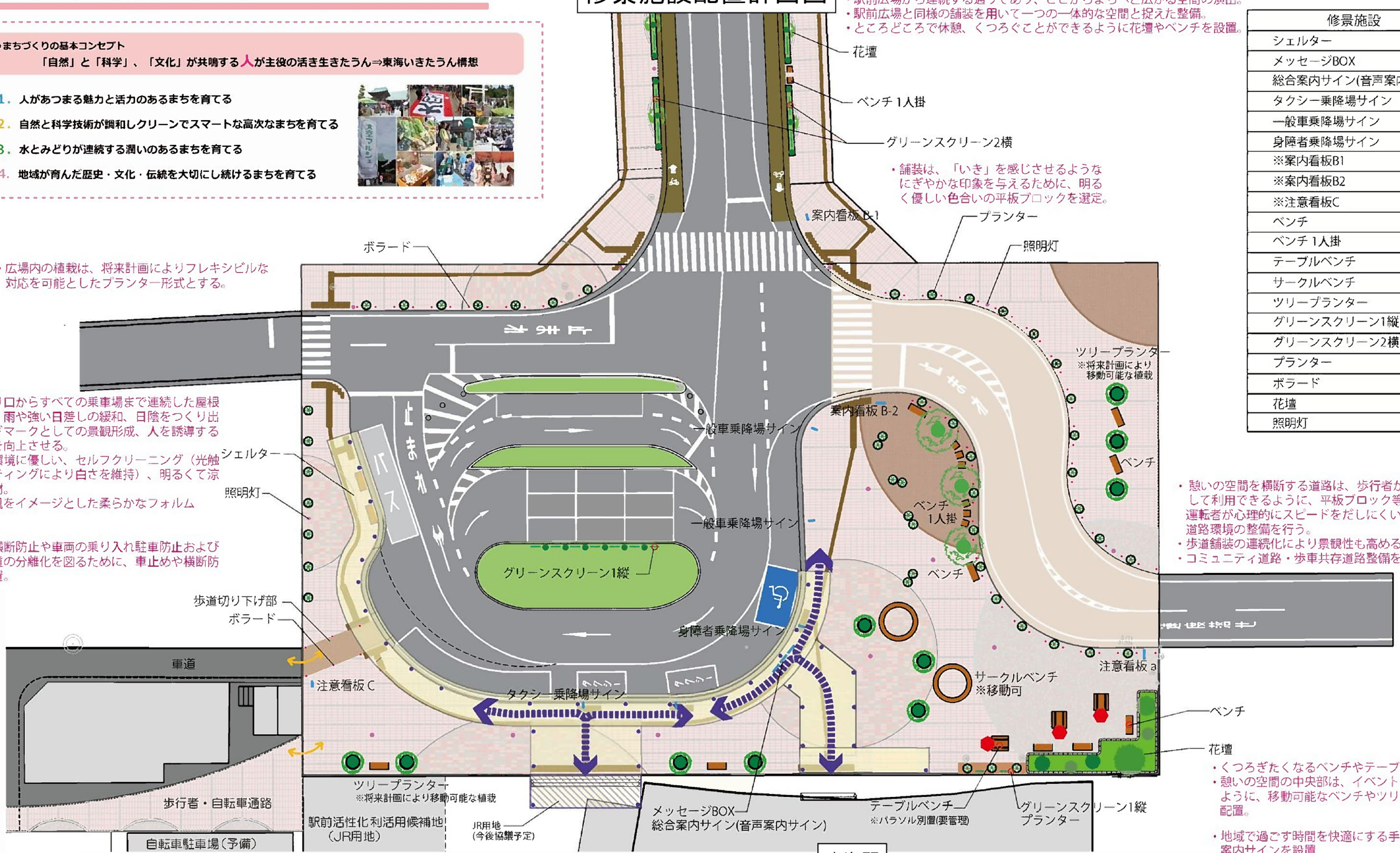
・駅前広場から連続する通りであり、ここからまちへと広がる空間の演出。
・駅前広場と同様の舗装を用いて一つの一体的な空間と捉えた整備。
・ところどころで休憩、くつろぐことができるように花壇やベンチを設置。

・舗装は、「いき」を感じさせるようなにぎやかな印象を与えるために、明るく優しい色合いの平板ブロックを選定。

・広場内の植栽は、将来計画によりフレキシビルな対応を可能としたプランター形式とする。

・駅舎出入り口からすべての乗車場まで連続した屋根を設置し、雨や強い日差しの緩和、日陰をつくり出す、ランドマークとしての景観形成、人を誘導する等の機能を向上させる。
・屋根は、環境に優しい、セルフクリーニング（光触媒をコーティングにより白さを維持）、明るくて涼しい膜素材。
・波や船の帆をイメージとした柔らかなフォルム

・歩行者の横断防止や車両の乗り入れ駐車防止および歩道と車道の分離化を図るために、車止めや横断防止柵を設置。

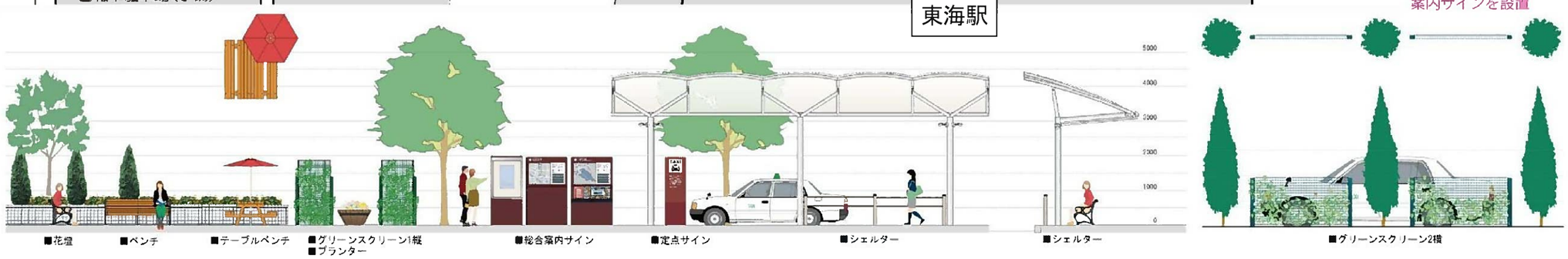


修景施設
シェルター
メッセージBOX
総合案内サイン(音声案内サイン)
タクシー乗降場サイン
一般車乗降場サイン
身障者乗降場サイン
※案内看板B1
※案内看板B2
※注意看板C
ベンチ
ベンチ 1人掛
テーブルベンチ
サークルベンチ
ツリープランター
グリーンスクリーン1縦
グリーンスクリーン2横
プランター
ボラード
花壇
照明灯

・憩いの空間を横断する道路は、歩行者が安全かつ安心して利用できるように、平板ブロック等を敷設して、運転者が心理的にスピードをだしにくいデザインとした道路環境の整備を行う。
・歩道舗装の連続化により景観性も高める。
・コミュニティ道路・歩車共存道路整備を推進

・くつろぎたくなるベンチやテーブルベンチを整備
・憩いの空間の中央部は、イベント等の利用ができるように、移動可能なベンチやツリープランターを配置。

・地域で過ごす時間を快適にする手段として案内サインを設置



駅前広場・駅西大通りに求められる機能

【都市計画運用指針　平成２６年８月　国土交通省】より

	機　能		求められる機能	求められる施設	設計の考え方	デザインイメージ
駅前広場	交通結節点機能	交通結節点機能	公共交通の乗継ぎ等を円滑かつ効率的に処理する役割およびパーク・アンド・ライド、キス・アンド・ライド等の付加機能の役割	・バス・タクシー・自家用車・障がい者車両に屋根設置	・駅舎出入り口からすべての乗車場まで連続した屋根を設置し、雨や強い日差しの緩和、日陰をつくり出す、ランドマークとしての景観形成、人を誘導する等の機能を向上させる。 ・屋根は、波や船の帆をイメージとした柔らかなフォルム。	
	都市の広場機能	市街地拠点機能	都市（地区）活動の中心の場として周辺各種都市機能を支援する機能	-	・高齢者や障がい者などをはじめとし、すべての人に利用しやすい施設（バリアフリー）とした配置とする。	
		交流機能	人々が憩い、集い、語らう場としての役割を果たすため、滞留スペースや都市の広場を導入する機能	・広場・ベンチ	・心地よい空間となるように、憩いの空間には、四季が感じられる植栽ポット（移動可能）やくつろぎたくなるベンチやテーブルベンチを整備。	
		景観機能	周辺環境との調和を図り、美しい広場づくりを行う機能	・修景舗装 ・デザイン施設 ・総合案内サイン・誘導サイン ・車止め・横断防止策 ・視覚障がい者誘導ブロック・展示案内等	・「いき」を感じさせるにぎやかな印象を与えるために、明るく優しい色合いの平板ブロックを基本とし、自然石やレンガの円形デザインをアクセントとして配置。 ・地域で過ごす時間を快適にする手段として、歩行者系、車両系、施設系サインシステムを分かり易い場所に配置。 ・歩行者の横断防止や車両の乗り入れ駐車防止および歩道と車道の分離の明確化を図るために、車止めや横断防止柵を設置。	
		サービス機能	都市サービス機能を担う、トイレ、出張行政所、サイン等の公共サービスを導入する機能			
		防災機能	災害時の一時的な避難場所となる地域の防災機能	・広場・地区総合案内サイン	・地区総合案内サインなどをわかり易い場所に配置。	
駅西大通り		-	-	-	・駅前広場と舗装やファニチャーのデザインを連続、統一させ、まちとの一体感を表現する。 ・歩道空間には、連続するみどりやベンチ等を整備し、沿道環境を充実させる。	

駅前広場　鳥瞰スケッチ

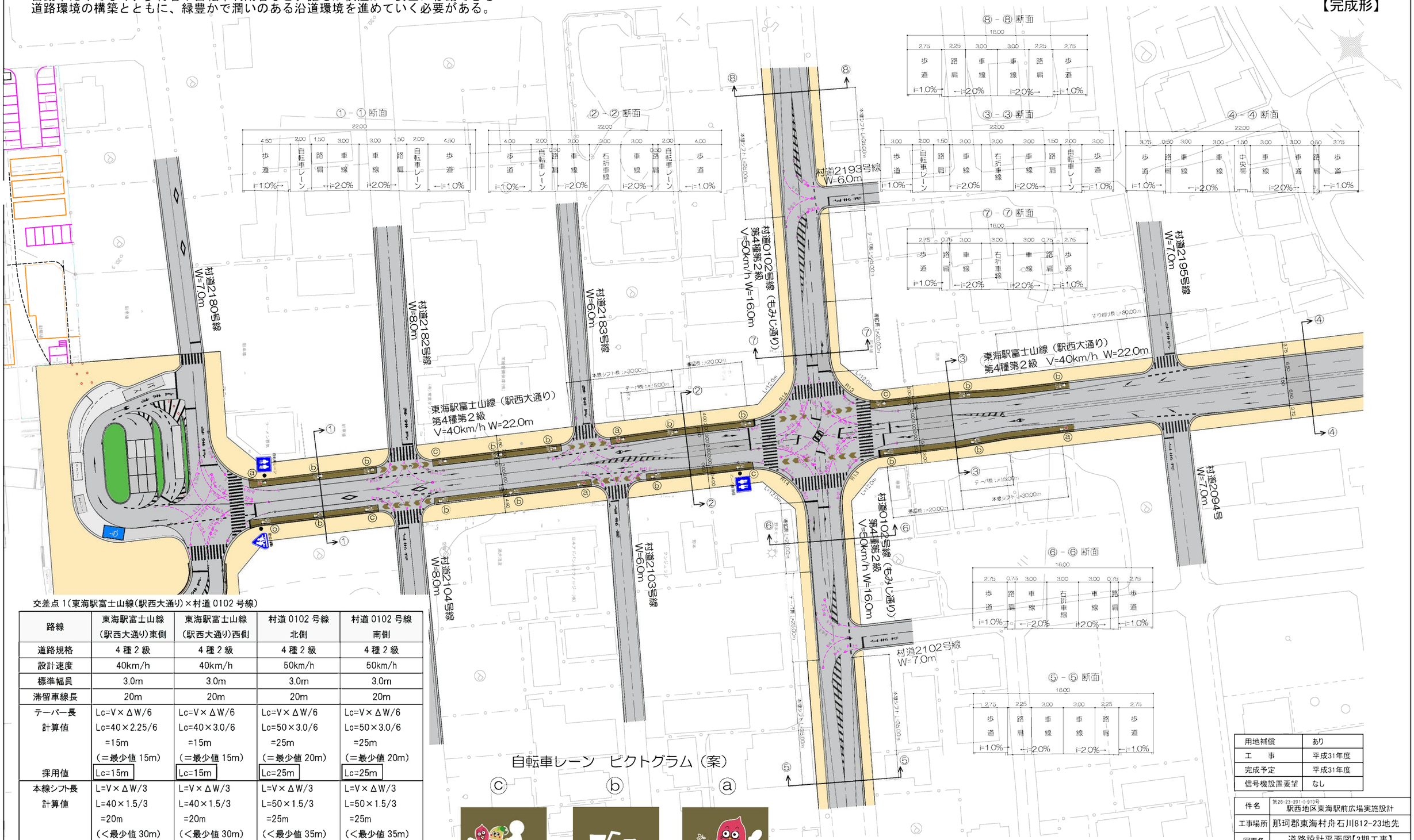
駅前広場再編に絡む駅前大通りの改修を行う。平成２６年１０月の交通量調査により、約5000台/日である事が分かり、
当時の計画交通量より少なくなっていることから、現在の４車線を２車線に縮小できることが分かった。
そこで、２車線分プラス中央分離帯を無くし、その分を自転車専用通行帯として整備する事としたい。

（根拠：第５次総合計画　後期基本計画　政策６－２－２　安全で快適な道路の整備・維持管理を行う）
自動車だけでなく、歩行者や自転車利用者など、誰もが快適かつ安全に移動できる
道路環境の構築とともに、緑豊かで潤いのある沿道環境を進めていく必要がある。

道路設計平面図

縮尺　1：500（A1）

【完成形】



ほしいもカラーに
いもぞうの路面表示

交差点 1（東海駅富士山線（駅西大通り）×村道 0102 号線）

路線	東海駅富士山線（駅西大通り）東側	東海駅富士山線（駅西大通り）西側	村道 0102 号線 北側	村道 0102 号線 南側
道路規格	4 種 2 級	4 種 2 級	4 種 2 級	4 種 2 級
設計速度	40km/h	40km/h	50km/h	50km/h
標準幅員	3.0m	3.0m	3.0m	3.0m
滞留車線長	20m	20m	20m	20m
テーパー長 計算値	Lc=V×ΔW/6 Lc=40×2.25/6 =15m （＝最少値 15m）	Lc=V×ΔW/6 Lc=40×3.0/6 =15m （＝最少値 15m）	Lc=V×ΔW/6 Lc=50×3.0/6 =25m （＝最少値 20m）	Lc=V×ΔW/6 Lc=50×3.0/6 =25m （＝最少値 20m）
採用値	Lc=15m	Lc=15m	Lc=25m	Lc=25m
本線シフト長 計算値	L=V×ΔW/3 L=40×1.5/3 =20m （＜最少値 30m）	L=V×ΔW/3 L=40×1.5/3 =20m （＜最少値 30m）	L=V×ΔW/3 L=50×1.5/3 =25m （＜最少値 35m）	L=V×ΔW/3 L=50×1.5/3 =25m （＜最少値 35m）
採用値	L=30m	L=30m	L=35m	L=35m
設計車両	普通自動車	普通自動車	普通自動車	普通自動車
導流路諸元	R=13.0 W=3.0	R=13.0 W=3.0	R=13.0 W=3.0	R=13.0 W=3.0

用地補償	あり
工　事	平成31年度
完成予定	平成31年度
信号機設置要望	なし

件名	第26-23-201-1-910号 駅西地区東海駅前広場実施設計		
工事場所	那珂郡東海村舟石川812-23地先		
図面名	道路設計平面図【2期工事】		
図面番号	全　　葉の内第　　号		
縮　尺	1:500(A1)	課　長	
東　海　村			

自転車専用通行帯整備計画図（駅西口～笠松運動公園）

平成25年12月1日施行　道路交通法一部改正

歩道での事故を起因とし、「車両」である自転車の車道左側通行を徹底したもの。しかし、車道では自転車が弱者となるため、安全の徹底が取り纏められている。

以上より、自転車専用空間の設置を検討する事とされている。

自動車の速度40ｋｍ/ｈ　超
自動車交通量4,000台/日　超

の場合は、自転車専用通行帯（自転車レーン）
＊物理的に縁切りせず、着色で視覚的に分離

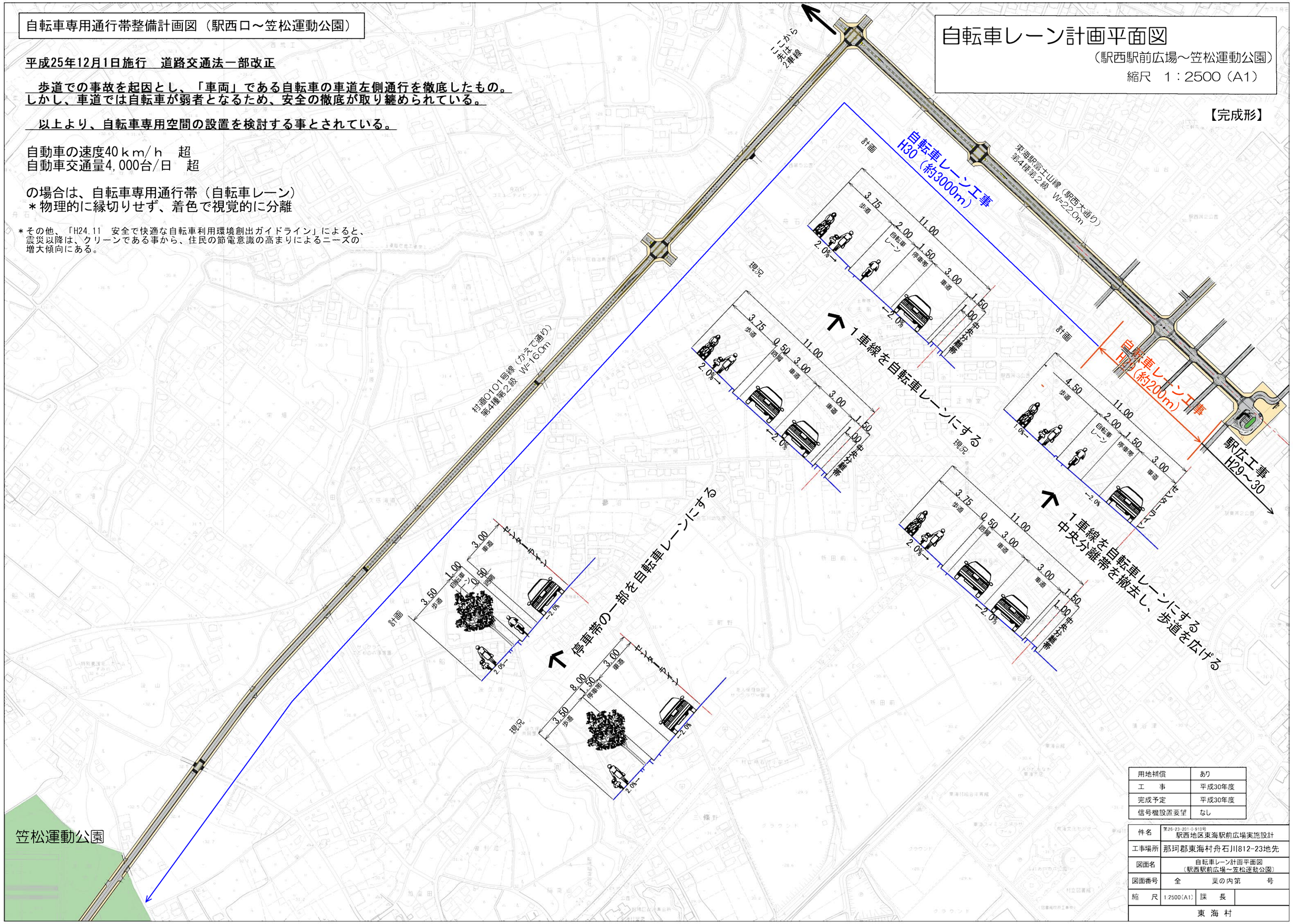
＊その他、「H24.11　安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」によると、震災以降は、クリーンである事から、住民の節電意識の高まりによるニーズの増大傾向にある。

自転車レーン計画平面図

（駅西駅前広場～笠松運動公園）

縮尺　1：2500（A1）

【完成形】



用地補償	あり
工　事	平成30年度
完成予定	平成30年度
信号機設置要望	なし

件名	第26-23-201-1-910号 駅西地区東海駅前広場実施設計		
工事場所	那珂郡東海村舟石川812-23地先		
図面名	自転車レーン計画平面図（駅西駅前広場～笠松運動公園）		
図面番号	全　　葉の内第　　号		
縮　尺	1:2500(A1)	課　長	
東　海　村			

用地交渉の難航により、国体までには不可能な場合は、
実施可能な部分について工事を完了し、暫定供用開始を行う。

東海駅西駅前広場設計平面図

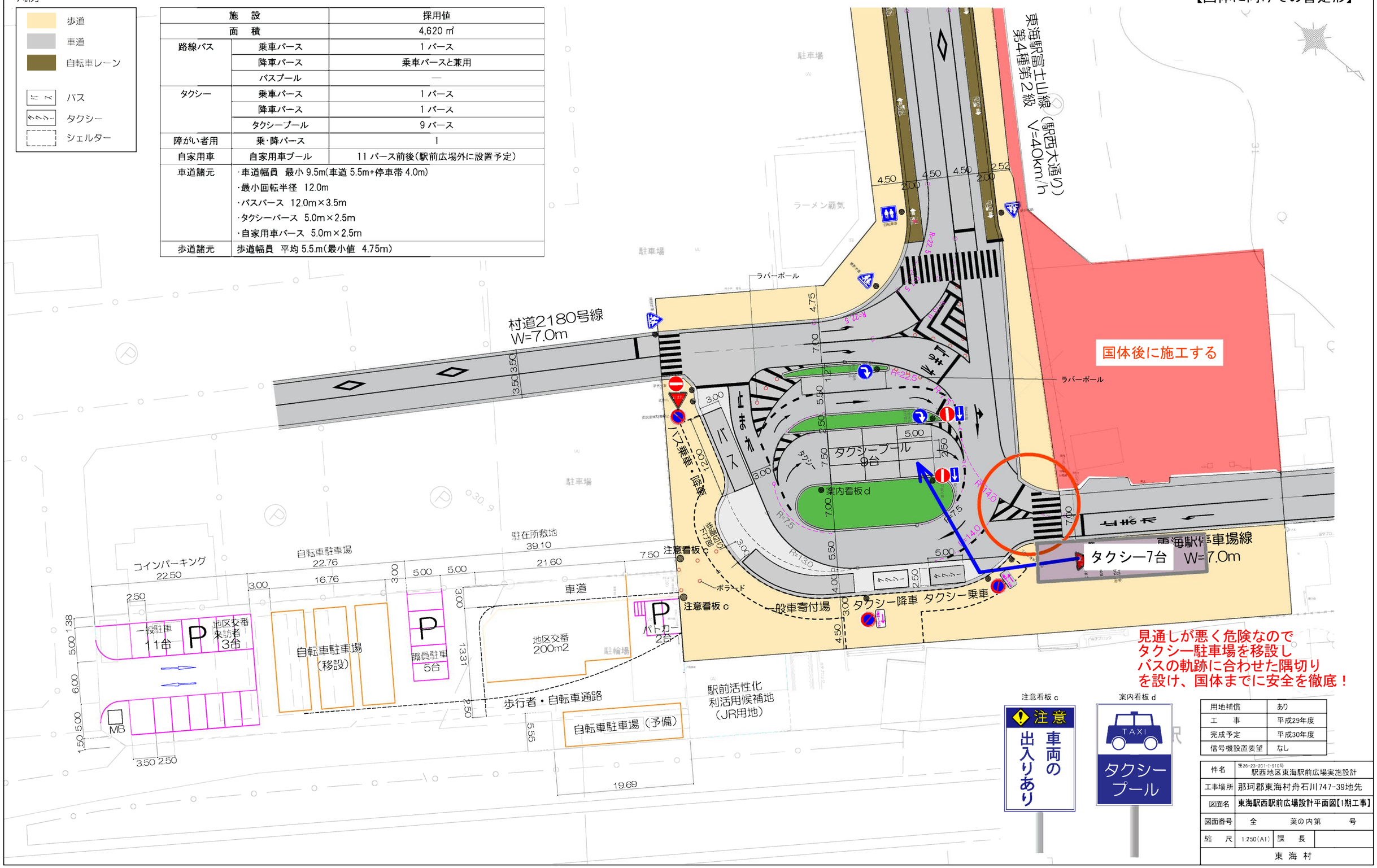
縮尺　1：250（A1）

【国体に向けての暫定形】

凡例

- 歩道
- 車道
- 自転車レーン
- バス
- タクシー
- シェルター

施　設		採用値
面　積		4,620 ㎡
路線バス	乗車バース	1 バース
	降車バース	乗車バースと兼用
	バスプール	—
タクシー	乗車バース	1 バース
	降車バース	1 バース
	タクシープール	9 バース
障がい者用	乗・降バース	1
自家用車	自家用車プール	11 バース前後（駅前広場外に設置予定）
車道諸元	・車道幅員　最小 9.5m（車道 5.5m+停車帯 4.0m） ・最小回転半径　12.0m ・バスバース　12.0m×3.5m ・タクシーバース　5.0m×2.5m ・自家用車バース　5.0m×2.5m	
歩道諸元	歩道幅員　平均 5.5.m（最小値　4.75m）	



用地補償	あり
工　事	平成29年度
完成予定	平成30年度
信号機設置要望	なし

件名	第26-23-201-1-910号 駅西地区東海駅前広場実施設計		
工事場所	那珂郡東海村舟石川747-39地先		
図面名	東海駅西駅前広場設計平面図【1期工事】		
図面番号	全　　葉の内第　　号		
縮　尺	1:250(A1)	課　長	
東　海　村			

作業スケジュール

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	関係機関協議							
2	用地交渉・建物補償・整地工事							
3	基本計画							
4	交通量調査・測量							
5	事業計画の変更認可							
6	実施設計							
7	工事（駅前広場　：駅西会計） （駅西大通り：一般会計）				駅前広場暫定工事 電源交付金　継続事業H29-H30 自転車レーン工事 防災安全交付金か電源交付金		駅前広場 完成工事 未定（用地）	
8	供用開始						暫定 供用開始	完全 供用開始予定
9	その他					茨城国体2019 H31.9～11日間		

平成27年度の今後の展開

平成28年1月4日　副村長説明
1月5日　村長説明
1月初旬　関係各課協議
2月1日　警察交差点協議完了
2月17日　政策会議への付議
2月19日　区画整理審議会
2月末頃　地域公共交通会議
（バス、タクシー、各種団体）
3月中に議会へ説明
3月末までに自治会へ周知

平成28年度の予定

・県警交番移設協議　（上半期）
・コインパーキング
移設用地整備　（下半期）

＊予算措置（協議中）
駅広　：電源立地地域対策交付金
継続費の設定（H29-H30）
大通り　：社総交　防災安全交付金